

2016年12月7日

日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社

「先導的省エネ技術によりCO₂排出量を削減！
空冷式ビル用マルチエアコン『フレックスマルチ高効率タイプ』の開発」で
「平成 28 年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞



冷暖切換型「フレックスマルチ高効率タイプ」
(定格冷房能力 14.0～150.0kW:全 26 機種)

日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社(CEO:フランツ・サーウィンカ)は、このたび「先導的省エネ技術により CO₂ 排出量を削減！空冷式ビル用マルチエアコン『フレックスマルチ高効率タイプ』の開発」で、環境省による「平成 28 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞しました。

「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」は、地球温暖化対策を推進する一環として、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人または団体に対し、その功績をたたえるために環境省が平成 10 年度から毎年行っているものです。当社は全 5 部門のうち、「技術開発・製品化部門」で受賞しました。

今回の受賞は、当社が開発したビル用マルチエアコン 冷暖切換型「フレックスマルチ高効率タイプ」(定格冷房能力 14.0～150.0kW:全 26 機種)が業界トップ^(*)の省エネ性を達成し、従来製品比で約 1,191 トン/年^(**)の CO₂ 排出量の削減を可能としたことなどが、地球温暖化防止に貢献するものとして評価されたものです。

■主な受賞理由

- ・主要構成部品である熱交換器・送風系、圧縮機などに省エネ性を高めるための各種新技術を採用し、低負荷運転時の運転効率を大幅に向上したことにより、業界トップの省エネ性を実現。
- ・低負荷運転時に圧縮機が ON・OFF する際に発生するエネルギーロスを抑制する「スムーズドライブ制御」を採用し、実運転時の消費電力を低減。

当社は、今後も環境に配慮した省エネルギー製品の開発に積極的に取り組み、地球環境保全に貢献していきたいと考えています。

(*1) 2016 年 12 月 7 日現在。ビル用マルチエアコンにおける「てんかせ 4 方向」と組み合わせた場合の APF2015(通年エネルギー消費効率)による比較において。

(*2) 2015 年度の従来製品実績台数による当社試算。CO₂ 排出係数は電気事業連合会 2014 年度実排出係数 0.556kg-CO₂/kWh を使用。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。)
